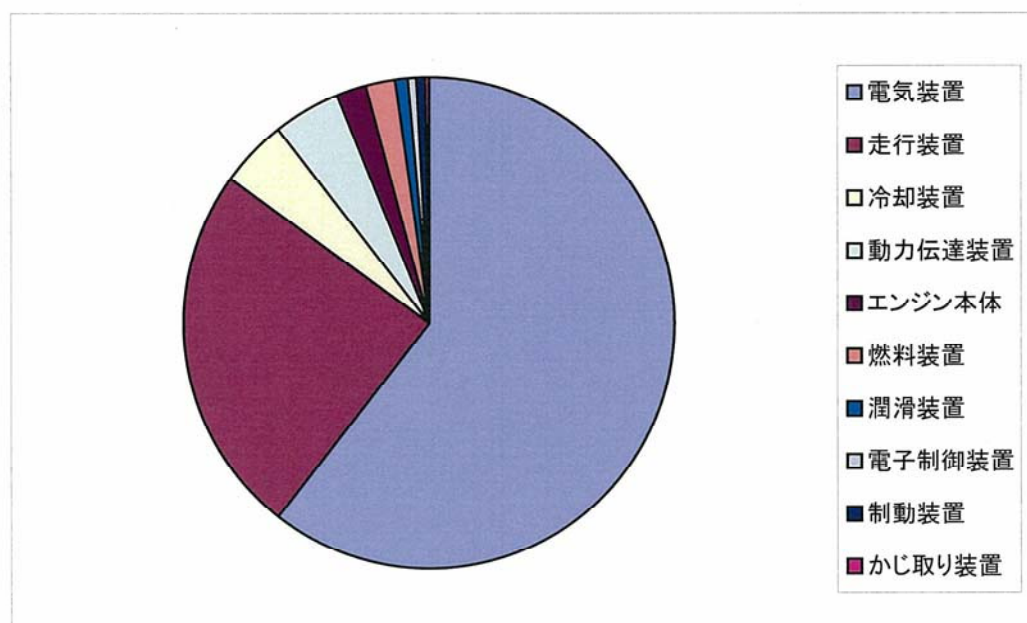


## 2009年の道路別装置別故障発生件数

国土交通省がまとめた2009年の路上故障車両の実態調査結果は次のとおりでした。

装置名	発生件数			
	一般道路		高速道路	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
電気装置	66,226	60.5	1,255	10.6
走行装置	26,805	24.5	7,254	61.2
冷却装置	4,826	4.4	952	8.0
動力伝達装置	4,821	4.4	855	7.2
エンジン本体	2,258	2.1	754	6.4
燃料装置	2,164	2.0	179	1.5
潤滑装置	845	0.8	485	4.1
電子制御装置	584	0.5	53	0.4
制動装置	574	0.5	44	0.4
かじ取り装置	333	0.3	14	0.1
総計	109,436	100.0	11,845	100.0

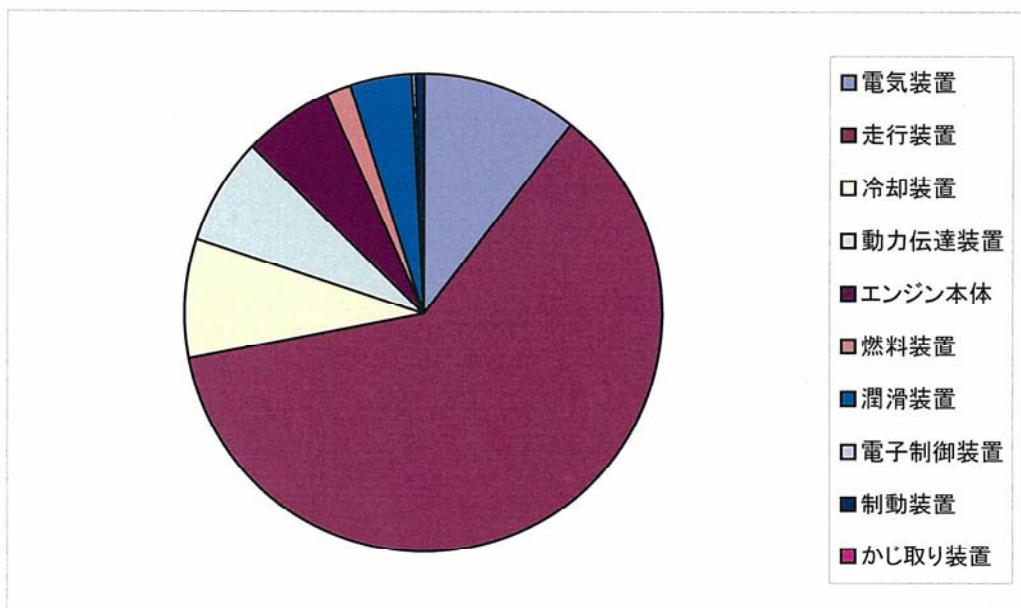
### 「一般道路」



### (コメント)

一般道路では、「電気装置」が最も多く、次いで「走行装置」、「冷却装置」の順でした。故障内容の内訳は、「バッテリー」(40.0%)、「タイヤ」(18.6%)、「オルタネーター」(3.5%)などが目立ちます。

## 「高速道路」



(コメント)

高速道路では、「走行装置」が最も多く、次いで「電気装置」、「冷却装置」の順でした。故障内容の内訳は、「タイヤ」(38.4%)、「バッテリー」(3.4%)、「エンジンオイル」(2.6%)が多くなっています。

## 「日常点検で防止可能」

一般道路、高速道路ともにバッテリーでは「過放電」や「端子接触不良」「液不足」、タイヤは「空気圧不足」「パンク・バースト」などによる故障が多く、この他の事例も、エンジンや変速機からのオイル漏れ、ファンベルトの緩み、ラジエーターの破損・腐食など日常点検で発見、防止できるケースが多くありました。

高速道路の無料化の実験も始まっており、高速道路の利用機会も増えますので、常日頃の点検をこまめに行って事故防止に努めましょう！